さかまた

2007.12
NO.70

シャチとともに
ー写真でつづるシャチの飼育 Historyー

飼育中の6頭のシャチ、左から「ビンゴ」「ステラ」「ラン」「ラビー」「ララ」「オスカー」

鴨川シーワールドでは、1970年に日本で初めてシャチの飼育を開始しました。シャチとともに歩んできた37年間を紹介します。

History 1 飼育開始（1970年）

今から37年前の1970年9月4日、アメリカから2頭のシャチが鴨川シーワールドへやってきました。日本で初めて飼育されたこのシャチは「ジャンボ」（オス）、「チャッピー」（メス）と名づけられました。

プールに搬入直後、輸送した外国人トレーナーに付き添われて泳ぐ「ジャンボ」（上）と「チャッピー」（下）

シャチとのつきあいはおそるおそる始まった 獰猛と思われていたシャチは賢く、人になれやすいことが明らかになった

日本で初めてのシャチのパフォーマンスは多くの人々に驚きと感動をあたえた

History 2 ダイナミックなパフォーマンス（1980年）

1980年11月4日、アイスランドからやってきた「キング」（オス）と「カレン」（メス）は、ダイナミックなパフォーマンスで人々を魅了しました。

コンテナに入れられチャーター便で成田空港へ到着したシャチ

プールを落水しての健康診断（採血）は、大仕事だった

輪につかまって一緒に潜りそのまま水面上へ！人鯨一体の「ロディオ」

History 3 オーシャンスタジアムオープン（1987年）

1987年3月21日、シャチの展示施設「オーシャンスタジアム」がオープンし、ダイナミックな動作とシャチとトレーナーとの心あたたまるふれあいによるパフォーマンスが始まりました。また、訓練によって採血などの健康診断ができるようになりました。

雄大な太平洋をバックにパフォーマンスが楽しめる「オーシャンスタジアム」

シャチとトレーナーが大空へ舞いあがる「スカイロケット」

体重測定もこのとおり

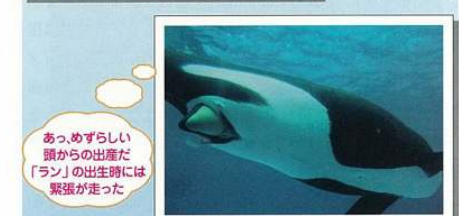
トレーナーの合図で自分の尾びれをさし出し、採血中も動かない

History 4 日本初の繁殖成功（1998年）

シャチの飼育を開始してから28年後の1998年1月11日午前8時、「ステラ」が出産しました。父親は「ビンゴ」で、赤ちゃんシャチ（メス）は「ラビー」と名づけられました。「ステラ」はその後、2001年2月8日に「ララ」、2003年5月31日に「サラ」（2006年死亡）、2006年2月25日に「ラン」と3頭の女の子を出産しました。

初めての赤ちゃん「ラビー」の出産シーン 母親「ステラ」は赤ちゃんの面倒を見ずに単独で泳ぎ、周囲をあわてさせた

2日後にようやく授乳を確認ホッと一安心

トレーナーと遊ぶ赤ちゃんシャチと見守る母親のステラ シャチとトレーナーの信頼関係を示す一枚

あっ、めずらしい頭からの出産だ「ラン」の出生時には緊張が走った

生まれるとすぐに母親の「ステラ」と姉「ラビー」、「ララ」が「ラン」の泳ぎを助けた

私たちはこれからもより多くの皆様にシャチの魅力を伝えていきたいと思っています。（前田　義秋）

「メル」の出産ーバンドウイルカ母子群のできごとー

▲「イルカの海」の母子群

6月13日、バンドウイルカの「メル」が出産をしました。「メル」は過去に2度の流産を経験しており今回が初産となるため、無事の出産を祈りながら見守りました。破水から4時間以上経過した午前0時25分にメスの赤ちゃんが無事誕生しホッと胸をなでおろした直後、同居していた「ノーマ」がこの赤ちゃんにつき、「メル」を寄せつけなくなりました。バンドウイルカは母親以外のメス個体が乳母役として赤ちゃんにつき、育児を補助することがよくありますが、母親が排除されることは初めてです。「ノーマ」は出産経験豊富なベテランママで、2007年1月に誕生した「ノエル」の育児中でしたが、自分の子にはかまわずにこの赤ちゃんにピッタリと寄りそい、片時も離れなくなってしまいました。「メル」は鳴きながら「ノーマ」と赤ちゃんの後を追いかけて泳ぎまわり、このままでは赤ちゃんに授乳することもできません。そこで、出産から9時間経過した午前9時にプールを落水し、「ノーマ」親子を隣のプールへ移動しました。

▲左からメルの子「メリー」、「ノーマ」、ノーマの子「ノエル」、「メル」

この後「メル」はすぐに赤ちゃんに寄りそい、3時間後には初めての授乳も確認できました。赤ちゃんはその後順調に成長し「メリー」というかわいい名前がつき、1ヶ月後には「ノーマ」親子もこのプールにもどりました。今では「ノエル」と「メリー」は大のなかよし、何事もなかったかのように2頭で元気に遊ぶ姿が見られます。

▲「ノーマ」親子を隣りのプールへ移動

▲一緒に泳ぐ「メル」と「メリー」

（梅木　一枝）

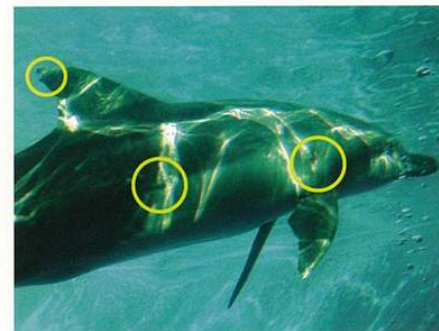
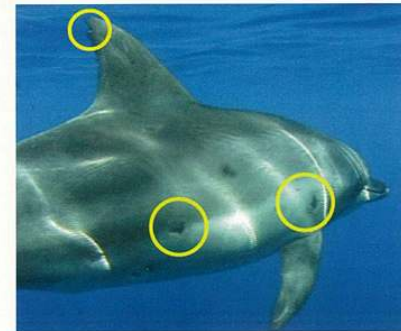
房総にやってきたミナミバンドウイルカ

▲「イルカの海」で泳ぐミナミバンドウイルカ

7月29日、鴨川沖の定置網に迷い込んだミナミバンドウイルカの成獣（オス・体長2.4m・体重185kg）を保護しました。

ミナミバンドウイルカは、水族館でおなじみのバンドウイルカとよく似ており、以前は同種と考えられていましたが、近年になって、形態や遺伝学的研究により別の種類とされ、小型で吻が長く、成長とともに腹部に黒い斑点が現れるのが特徴です。熱帯や温暖海域の沿岸に生息し、日本では天草や小笠原、伊豆諸島の沿岸域で見られ、ドルフィンウォッチングの対象となっているイルカです。以前より、関東地方沿岸で本種が確認されることがあり、鴨川市の実入浜や館山市の洲崎海岸でも、数個体が確認されています。

東京から約200km南に位置する御蔵島周辺の海域には、ミナミバンドウイルカが定住し、水中ビデオ撮影による個体識別調査により、約160頭が識別されています。今回保護した個体の写真を御蔵島観光協会に送り、照合を依頼したところ、識別番号#318の個体であることが判明しました。御蔵島周辺海域に生息するミナミバンドウイルカについては、近年、個体数や生態、音声、行動などの研究が行われており、この個体もその研究対象となっていたことより、研究者の注目を集めています。

▲鴨川市の実入浜で泳ぐミナミバンドウイルカ（昭和51年）

▲個体識別の決め手となった部位（左：鴨川・右：御蔵島で撮影）

（佐伯　宏美）

モラモラ

オンラインショップ開店

海の動物のグッズを気軽に買い物できる鴨川シーワールドオンラインショップ（ヤフーショップ）を3月に開店しました。開店時から次第に品数を増やし、現在扱う品数は700点をこえ、携帯ストラップ、ぬいぐるみなどのオリジナルグッズをはじめ、オンラインショップならではの限定商品も数多くそろえています。本物志向のオブジェやフィギュア、アクセサリー類など、海の動物好きのお客様にはたまらないラインアップとなっています。アクセス数は、月に2万件をこえ「イルカやシャチのグッズを手軽に見つけられた」とうれしい声もいただいています。

（菊原　崇夫）

アドレス：http://store.shopping.yahoo.co.jp/kamogawaseaworld

平成19年度サマースクール

恒例の「サマースクール」を、7月23日から31日まで8日間、開講しました。当館では、多くの子どもたちに水の生き物について楽しく学んでもらうために、毎年夏休みに実施しており、今年で35回目になりました。今回は「分類」をテーマに、それぞれの仲間の特徴について実際に手にとって観察したり、大きさを測ったりしながら楽しく学ぶことができました。なかでも、ヒモでぐるぐる巻きにしたヒトデがいとも簡単に「縄抜け」してしまう様子や、初めてさわるセイウチには、驚きの声が上がりました。動物たちとのふれあいをとおして、いろいろな特徴をもった生き物がいることを体感してもらえたと思います。

（小川　泰史）

特別展示「流れ藻の魚」

夏休み期間中、「夏の南房総　流れ藻の魚」と題した特別展示を行いました。鴨川沖では夏になると黒潮にのってやってくる「流れ藻」を見ることができます。流れ藻とは、波などの影響で海底からちぎれ海面をただよう海藻のことで、海面に浮くことができるホンダワラ類がほとんどです。回遊魚の産卵場所や幼魚の生活場所として、多くの魚たちに利用され、「海のゆりかご」のような役割を果たしています。体長1～3cmほどのイシダイやカワハギなどの幼魚や、小魚をエサとして一生を流れ藻の中で生活をするハナオコゼなど、10種200尾を展示し、流れ藻の特徴やそこで生活する魚たちの生態についてわかりやすく紹介しました。

（加納　幸司）

「シーワールド満喫体験」＆「レディースナイトステイ」

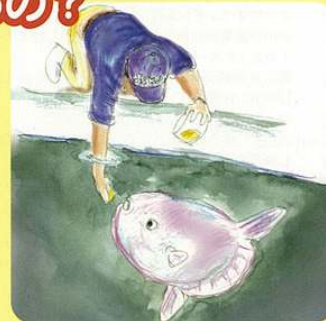
10月に、動物たちとのふれあい体験をもりこんだプログラム「シーワールド満喫体験」、女性だけの水族館お泊り企画「レディースナイトステイ」を実施しました。「満喫体験」は宿泊コースと日帰りコースがあり、サインを出してイルカを動かすイルカトレーナー体験、シャチと一緒に記念写真などもりだくさんの内容で、動物たちとのひとときが存分に楽しめます。「レディースナイトステイ」は、トロピカルアイランドの「無限の海」の前でお泊りをする、「海底宿泊体験」の女性限定版です。女性トレーナー同席のディナーなどももりこまれ、若い方からお年寄りまで女性だけのスペシャルプランを楽しんでいただきました。

（村松　政之）

親子でStudy
な・ぜ・な・ぜ・相・談・室

Q マンボウってどんな魚？

Q プールにはってあるビニールは何のため？ どうやってエサをあたえるの？

プールにはってあるビニールは、クッションのやくわりだよ。ぶつかってもいたくないよ！

エビやカキなどをねった「ねりエサ」を手からあたえているよ。

表紙説明　シャチ姉妹のジャンプ
「ララ」6才(左)・「ラビー」9才(右)